

★新優良品種 高雄22号

農林廳主催の四十一年全省稻作増産競争で、高雄縣島松郷の陳發先生が第一期作に每甲乾淨谷一二、八七四五斤を生産して優勝したが、この産量は第二期作の最高収量を超過して、全年の最高収量を示した。陳發先生の使用品種は光復後育成された高雄二二號であるが、そのためこの品種は一躍有名になり、各方面の注意を引く様になつたのである。次にこの品種を育成した高雄區農林改良場農藝課長王南漢先生に、この品種の歴史や特性を説明してもらつた。

高雄二二號は高雄區農林改良場が、民國三五年の二期に高雄一八號を母本とし、臺中一五八號を父本として交配

育成したのである。そして、三八年一期に固定選出し、その後、品種試験を経て三九年に獎勵品種として指定され、三九年一期に原種として、二期に原種として、四十年一期には採種田として栽培され、そして四十年の二期に始めて一般農民に配付されたのである。だから、この品種の歴史は極めて新しい。

高雄二二號の特性として、株稍高く、分蘗は中庸、穂形特に長く、着粒は極めて密である。生育日数は一期で九三日、二期で六九日の中生種。成熟した稈の色と稈尖は淡黄で芒がない。吸肥力強く、殊に抗病性が強い。米粒は稍圓く、米の品質中等である

が、産量甚だ多く、南部地區（高雄區及臺南區）特に高雄縣屏東縣に好適な品種である。次に試験成績をあげて高雄二二號の豊産性を示してみよう。

第一期作産量調査表
(普通肥料區)

品種名	收量(公頃)	指數
臺中六五號(對照)	4,400	100
高雄一八號	4,400	100
高雄二二號	4,700	107
高雄二七號	4,500	102

第二期作産量調査表
(普通肥料區, 三年平均)

品種名	收量(公頃)	指數
臺中六五號(對照)	3,200	100
高雄一八號	3,200	100
高雄二二號	3,300	103
高雄二七號	3,100	97

次に高雄縣一二個農、屏東縣一四個農、高雄市一個農、合計二七處で行つた四十年地方水稻優良種示範田の平均成績を示す。

第一期作(公頃公斤及指數)

臺中六五號(對照)	3,800	100
高雄一八號	3,800	100
高雄二二號	3,900	103
高雄二七號	3,700	97

第二期作

臺中六五號(對照)	2,800	100
高雄一八號	2,800	100
高雄二二號	2,900	104
高雄二七號	2,700	97

最後に王課長は「昨年の出品田は私が審査したが、そのとき感じたことは施肥量の不足であつたことである。高雄二二號の二大特性である、稲熱病に對する強い抵抗力と強い吸肥性を十二分に發揮させるためには、もつと多くの肥料を施すべきだつた。それらもつと増産出來た筈だ」と語つた。



分は單撚裝置で、その良否は製品に影響するものである。故に其の種類も多く、各々特色がある様です。また、撚口を同軸させる撚機は、撚の強さを加減出来る様にされて居ります。

撚口は、使用するワラの硬さにより調節されるべきです。硬いワラを製造する際には環狀スプリングを強くし、常に左右の撚口は等しく調整されて居なくてはなりません。

農家の副業としてワラ加工は、最も容易で安全な作業である事は衆知の所です。またワラ加工用機械のうち、製繩機が最も主要な位置をしめて居ります。そこで今回は製繩機の中でも普遍的に利用されて居るものについて述べて見ませう。

現在の製繩機は特殊なものを除くほか、大部分は包装用、使用、延用、吹用、梱包荷造り用繩等を作るものです。

一、製繩機の種類と構造

製繩機の種類は製品、使用動力、繩取形式別に左の如く分ける事が出来ます。

甲、製品別：太繩用、細繩用、兩繩兼用、堅繩用、動力用、人力動力兼用、繩取形式別：籠取式、普通卷取式。

製繩機の種類は製品、使用動力、繩取形式別に左の如く分ける事が出来ます。

甲、製品別：太繩用、細繩用、兩繩兼用、堅繩用、動力用、人力動力兼用、繩取形式別：籠取式、普通卷取式。

乙、使用動力別：動力用、人力動力兼用、繩取形式別：籠取式、普通卷取式。

丙、繩取形式別：籠取式、普通卷取式。

構造と其の作用

製繩機には多くの製造元があり、各々特色があります。が、構造は大體似た様なもので、その代表的なものを例にとつて、話を進めて行きます(第一圖参照)。

【A】單撚裝置

製繩機の最も大切な部分、撚口は、撚の強さを加減出来る様にされて居ります。

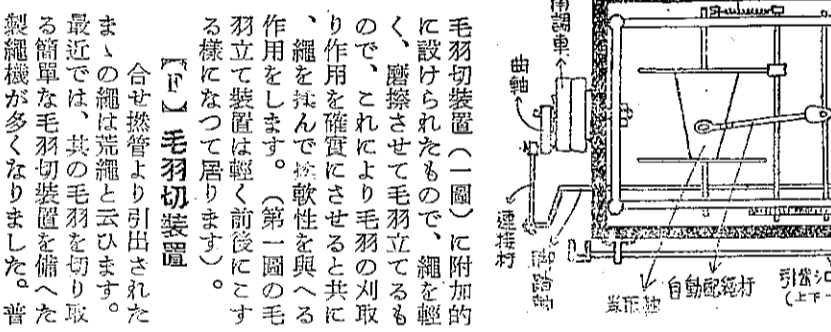
撚口は、使用するワラの硬さにより調節されるべきです。硬いワラを製造する際には環狀スプリングを強くし、常に左右の撚口は等しく調整されて居なくてはなりません。

【B】合せ撚裝置

單撚口で、左右別々に撚られたものを、一諸に撚合せ引出す作用をする裝置を「合せ撚裝置」と言ひます。構造は簡單ですから、第一圖を見れば理解出来ると思ひます。

【C】毛羽立て裝置

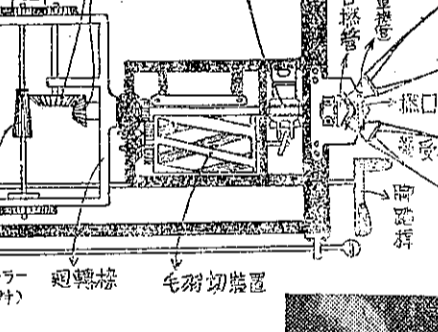
毛羽を立てる装置は、撚機に變へ動作する様になつて居ります。最近では、農村副業が小工業化して参りましたので、所によつては製繩機にも人力、動力兼用のものが多く現はれて参りました。



【D】卷取裝置

特別の場合を除く以外、繩取りは卷取式になつて居ります。其の驅動裝置として「ベルト式」「磨擦輪式」の二種がありますが、何れも張り具合はスプリングにより常に一定に掛る様に造られて居ります。

人力用は足で動かすため、同軸が平均しないのが缺點です。また、脚踏動作を行ひながら、更に行ひますので、動力に比し能率が、成品共に劣りますが、設置の簡単な毛羽切裝置を備へた製繩機が多くなりました。普通人力式では努力の消費を少くするため、極く小型のものがついでに居ります。構造は同軸刃物と固定刃物とから成り、繩はその間を進む中に毛羽を刈り取られる筈となつて居ります。



製繩原理は手工繩の場合と同じで、二箇の單撚口へ一定量のワラを供給し、撚口回転裝置の作用により、撚が掛つて單撚繩が一本づつ出て來ます。これを合せ撚管内で合せると共に、同軸の同軸刃物により撚り合し、引出しローラーで引出します。なほ、新型の製繩機では毛立て、毛羽切の裝置を備へて居ります。

【E】毛羽立て裝置

毛羽を立てる装置は、撚機に變へ動作する様になつて居ります。最近では、農村副業が小工業化して参りましたので、所によつては製繩機にも人力、動力兼用のものが多く現はれて参りました。



【F】合せ撚裝置

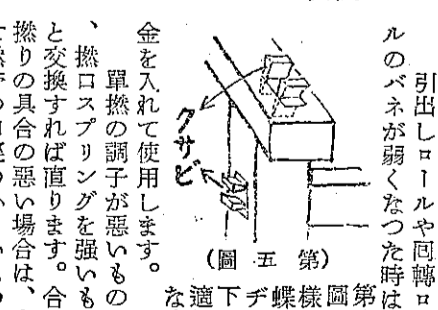
單撚口で、左右別々に撚られたものを、一諸に撚合せ引出す作用をする裝置を「合せ撚裝置」と言ひます。構造は簡單ですから、第一圖を見れば理解出来ると思ひます。

製繩機の性能

機種別	動力時間	動力	時間	成品數量
人力用製繩機	人力一名	一時間	四分	約四キロ
動力用製繩機	馬力一時間	一分	四分	約六キロ
動力用製繩機	馬力一時間	一分	四分	約八キロ
動力用製繩機	馬力一時間	一分	四分	約十キロ

【G】毛羽切裝置

毛羽を立てる装置は、撚機に變へ動作する様になつて居ります。最近では、農村副業が小工業化して参りましたので、所によつては製繩機にも人力、動力兼用のものが多く現はれて参りました。



【H】修理法

機體の外側が木製の場合は、長い間使つて居ると、震動や乾燥のために、使用中にガタ／＼振れるようになります。この時には第五圖の様にクサビを打つておくと振れなくなります。

引出しローラーと同軸の引出しローラーは、同軸の引出しローラーのバネが弱くなつた時は、金を入れて使用します。

單撚の調子が悪いものは、撚口スプリングを強いものと交換すれば直ります。合せ撚の具の悪い場合は、合せ撚管の口徑の小さいものと交換すると調子が直ります。

【I】簡便なる手入法

掛替齒輪、及び修理法

掛替齒輪、及び修理法